

連携自治体紹介シート兼ワーケーション体験プログラムシート

自治体名	神奈川県小田原市
自治体の概要 主な特色 PR ポイント	「木づかいのまち小田原」のワーケーション体験 人口：約 186,000 人 面積：113.60 平方キロメートル（県総面積の 4.7%） 市町村の木：クロマツ 特産品：提灯、蒲鉾、ひもの、梅干 本市は、戦国時代に後北条氏の「城下町」として発展し、江戸時代には東海道屈指の「宿場町」として栄え、明治期には政財界人や文化人たちの「別荘、居住地」として愛されてきた、神奈川県西地域の中心都市です。 緑豊かな山、清らかな川、雄大な海、肥沃な平野、そして温暖な気候、多くの先人によって築かれた長い歴史と伝統・文化があり、今も、より良いまちづくりのためにさまざまな取り組みが進められています。 また、本市は、神奈川県西部に位置し、南西部は箱根連山につながる山地、東部は大磯丘陵につながる丘陵地帯となっています。市の中央には、酒匂川が南北に流れて足柄平野を形成し、南部は相模湾に面しています。 森林面積は、市域の約 37%に当たる 4,193ha（令和 5 年度（2023 年度）時点）を占め、神奈川県の森林率とほぼ同程度の割合です。樹種の構成は、スギ、ヒノキなどの針葉樹の人工林が約 68%、広葉樹などの天然林が約 28%、その他タケなどが約 4%と、針葉樹人工林の割合が高く、主に西部の山腹部に分布しています。一方、西部の山麓部や東部一帯には、以前は薪炭林として利用されていたと思われる、クヌギやコナラなどの落葉広葉樹の二次林が多く分布しています。 地形的な優位性や豊富な人材とその高い技術力を生かし、川上から川下の関係者が協力・連携して、地域で産み出された木材を市民の生活とつなげる取組を進めています。例えば、小学校の内装や 駅地下街（HaRuNe 小田原「うめまる広場」）の壁面の木質化、小田原市いこいの森のバンガローなどの公共建築物への木材利用に加え、かます棒やかまぼこ板、木はがきをはじめとした他産業とのコラボレーションまで、多種多様な木材利用に取り組んでいます。
アクセス方法 （参考経路）	【品川駅】－ 東海道新幹線（約 0.5 時間）－ 【小田原駅】
主な地域課題	・木材価格の低迷等の影響により職人の減少や製材所などが縮小傾向にある。 ・木材の生産のみでは森林所有者への経済的な還元は難しい状況にある。 ・伐採量に対して小田原産木材（製材品）の流通量が少ない。 ・小田原産木材の認知度が低い。
受入時期	令和 7 年 7 月下旬～12 月末日（間伐見学は 11 月～12 月頃：要相談）
ワーケーション プログラム内容	【小田原産木材体験プラン】 ※①～③がセットのプランです。 ①森林散策・間伐見学・貯木場見学【小田原市森林組合】 森林や施業の概要を説明しながら、山の散策を行い、その後、間伐見学を行います。（見学料：10,000 円/1 事業者※ヘルメットや長靴等のレンタル料含む。）

連携自治体紹介シート兼ワークショップ体験プログラムシート

右記のプログラムから、泊数に応じてご希望の内容を組み合わせて実施していただきます。

②製材所見学【小田原地区木材業協同組合】

地域産の丸太の状態や特性に配慮しながら、1本ずつ丁寧に製材する製材所の見学を行います。(見学料：20,000円/1事業者)

③森林・林業・木材産業関係者との意見交換

本市では、川上から川下の関係者が「木づかいのまち小田原」をキャッチフレーズに一丸となって取り組んできました。顔の見える連携体制の構築により、各種木材利用案件やオーダーメイド製品への対応など、具体的な案件に対する相談や意見交換が可能です。(無料)

【レクリエーションプラン】 ※①～③は個別に選択することも可能です。

① 森林サービス産業の推進による林業経営の見学・体験【T-FORESTRY】

森林をレクリエーションの活動空間として活用するサービス（フォレストアドベンチャー、フォレストバイク）の視察・体験が可能です。

※同社は令和6年度農林水産祭の林産部門で天皇杯を受賞

(視察料(T-FORESTRY 辻村代表の案内による林業経営の講話含む)：3,000円/人、レクリエーション体験料：4,000円/人)

②小田原市いこいの森

小田原市が運営する森林総合利用施設において、箱根外輪山の麓、久野の豊かな森林と清流のなかで、コワーキング、バーベキュー、宿泊（キャンプ場、バンガロー）等ができます。

コワーキングスペース YURAGI (利用料金 1,100円/人)

<https://www.ikoi-odawara.com/kitsutsuki>

日帰りバーベキュー

料金等詳細は下記 URL を参照ください。

<https://odawara-jigyo-kyokai.jp/ikoi-bbq/index.html>

いこいの森キャンプ場宿泊

箱根外輪山の麓、森の中を清流がせせらぐ自然溢れるキャンプ場です。料金等詳細は下記 URL を参照ください。

<https://www.ikoi-odawara.com/recamp>

【オプション】 ※各プランを選択した時のみ選択可

市内木材利用施設等の見学【小田原市農政課】

毎年1校ずつ実施している小学校の木質化をはじめ、木材が使用された市内施設（小田原駅付近）の見学を行います。また、いこいの森（キャンプ場、ワークショップ施設）の案内も可能です。(見学料：無料)

連携自治体紹介シート兼ワーケーション体験プログラムシート

主な対象事業者	森林・林業・木材産業関係者、設計士、施設等で木材利用を検討している方
受入上限数	いずれのプログラムも原則 10 人まで（超える場合は要相談）
未就学児の子ども受入	【可・不可】
事業者に期待すること	・事業者様の木材利用案件において、本市の原木や木製品等を取り扱っていただくこと。 ・ホームページや社内広報において、本市でのワーケーション体験についてPRをしていただき、本市の木材や木製品の都市部への販路拡大に期待しています。
留意事項	・行程によっては、レンタカーが必要になる場合があります。 ・受入れ人数は原則 4 人以上からです。人数に満たない場合は要相談となります。